



兵庫県立姫路商業高等学校 × 宮城県農業高等学校



エシカル
甲子園
2023

二つの大震災の教訓を100年先の未来へ

～「繋ぐ・伝える・備える」命の語り部 Project～

1. 二つの大震災の教訓

平成の大災害で死者が非常に多かった災害である**阪神・淡路大震災**と**東日本大震災**に注目しました。

そこで、2つの被災地の語り部から「物は復興するけど、親族を失った人の心はいつまでも復興しない…」「今すぐできることを後回しにしないで。今は二度と戻らないから…」と聞き、「私にできることから始めよう!!」と決意するきっかけになりました。

そこで、兵庫県立姫路商業高等学校と宮城県農業高等学校が「物の復興とは?」「心の復興とは?」「本当の復興とは何なのか?」をテーマに連携しました。



小野寺さんの東日本大震災の語り部の様子



片田さんの阪神・淡路大震災の語り部の様子

2. 二つの被災地の想いを「繋ぐ」災害食のパンの缶詰

二つの大震災の被災地である**兵庫県立姫路商業高等学校**と**宮城県農業高等学校**が連携をし、後世の若者にも継承していくため3つの共同商品開発を実施。その1つ目が5つのコンセプトを満たした災害食のパンの缶詰「**ふわ姫パン**」です。この商品で被災地支援・地産地消を進めるため、食材には**兵庫県産の卵**・**宮城県産の苺**を採用しています。



ふわ姫パンの商品ラベル

3. 命の語り部を伝える

2つ目の共同商品開発が2つの被災地の語り部の話を元に、**阪神・淡路大震災**と**東日本大震災**をオリジナルストーリーで描いた**防災教育絵本「みらいへつなぐひかり」**です。幼少時の防災教育は効果が非常に高いことから、**教育機関**で読み聞かせを実施します。



しげる幼稚園で読み聞かせの技術や方法を学んでいる様子



高校生ボランティアアワード2023に出場した様子

4. 災害に備える

3つ目の共同商品開発が**真空パックご飯「金の光」**です。これは「日本一美味しいお米コンテスト」で二冠に輝いた**宮城県農業高等学校産の「金のいぶき」**と**東日本大震災**の時に**兵庫県粟粟市**から寄贈した「**コシヒカリ**」をブレンドした被災地の想いを繋ぐ商品です。



金の光の商品ラベル

5. 災害を他人事（ひとごと）から自分事に

3つの共同商品開発をした商品を活用して、**県民・日本全国の方々の防災・減災意識の向上**に取り組みました。これらの取組により、**高校生ボランティア・アワード2023**の全国大会で特別賞を受賞、**神戸・産経・姫路経済新聞**等に掲載、**兵庫県知事の定例記者会見**で本プロジェクトが紹介されるなど、**SDGsの目標に基づいて50団体以上と連携**をしています。このことから相手様からの依頼で、**販売実習・啓発活動**を実施するとともに、**ラジオ(FM GENKI)**で月に1回の番組を担当するなどの広がりを見せています。



イオンモール姫路リバーシティで販売実習をしている様子



FM GENKIでの収録の様子

6. 二つの大震災の教訓を100年先の未来へ

JICA (国際協力機構)・JIFH (日本国際飢餓対策機構)・SEEDS Asiaの支援のもと、**トルコ共和国 (トルコ・シリア地震)**・**フィリピン共和国 (平成25年台風第30号)**等の被災地支援をします。特に、**フィリピン共和国**は日本とは異なり、**災害の教訓を継承する文化が存在しません**。このことから、**災害の教訓を継承する大切さを伝える**ために、**共同商品開発した商品を活用**、**現地の高校生との交流会**の実施をします。そして、**We would like to save as many lives as possible including, those overseas.** (海外の方々も含め一人でも多くの命を救いたい。) **日本から世界へと羽ばたくプロジェクト**にしています。



イナバング北校高等部 (Facebook)